

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 6 月 7 日 (2007.6.7)

【公開番号】特開 2001-292137 (P2001-292137A)
 【公開日】平成 13 年 10 月 19 日 (2001.10.19)
 【出願番号】特願 2000-106333 (P2000-106333)
 【国際特許分類】

H 0 4 L 12/02 (2006.01)

H 0 4 M 11/00 (2006.01)

H 0 4 L 29/08 (2006.01)

【F I】

H 0 4 L 12/02 B

H 0 4 M 11/00 3 0 3

H 0 4 L 13/00 3 0 7 A

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 4 月 4 日 (2007.4.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 呼が解放された際に、データリンクを解放するか否かを判別する判別手段と、

所定時間を設定するための操作手段と、

前記判別手段の判別に応じて、前記操作手段により設定された所定時間を計時する計時手段と、

前記所定時間の経過に応じて、データリンクを解放するための処理を開始する解放手段と、

を有することを特徴とする通信装置。

【請求項 2】 前記解放手段は、前記所定時間が経過すると、レイヤ 3 からレイヤ 2 に対してデータリンクの解放を要求することを特徴とする請求項 1 に記載の通信装置。

【請求項 3】 前記解放手段は、前記所定時間が経過すると、回線を介してデータリンクの解放を指示するための信号を送信することを特徴とする請求項 1 に記載の通信装置。

【請求項 4】 前記計時手段により所定時間が計時される前に、呼の発生を検出すると、前記計時手段は計時を停止することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 のいずれかに記載の通信装置。

【請求項 5】 前記解放手段は、前記計時手段により所定時間が計時される前に、回線を介してデータリンクの解放を指示する信号を受信すると、レイヤ 2 からレイヤ 3 に対してデータリンクの解放を通知することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 4 のいずれかに記載の通信装置。

【請求項 6】 前記判別手段による判別は、呼の解放が完了したことを通知する信号を送信、または、受信した際に行われることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 5 のいずれかに記載の通信装置。

【請求項 7】 前記判別手段は、データリンクが設定中である場合はデータリンクを解放すると判別し、データリンクが設定中でない場合はデータリンクを解放しないと判別することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 6 のいずれかに記載の通信装置。

【請求項 8】 前記判別手段は、他に呼が存在しない場合はデータリンクを開放すると判別し、他に呼が存在する場合はデータリンクを開放しないと判別することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 7 のいずれかに記載の通信装置。

【請求項 9】 前記判別手段は、データリンクを端末から解放する設定になっている場合はデータリンクを解放すると判別し、データリンクを端末から解放しない設定になっている場合はデータリンクを解放しないと判別することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 8 のいずれかに記載の通信装置。

【請求項 10】 呼が解放された際に、データリンクを解放するか否かを判別する判別工程と、

前記判別工程における判別に応じて、操作部による操作により設定された所定時間を計時する計時工程と、

前記所定時間の経過に応じて、データリンクを解放するための処理を開始する制御工程と、

を有することを特徴とする通信装置の制御方法。

【請求項 11】 通信装置を制御するためのプログラムを記憶する記憶媒体であって、

前記プログラムは、

呼が解放された際に、データリンクを解放するか否かを判別する判別工程と、

前記判別工程における判別に応じて、操作部による操作により設定された所定時間を計時する計時工程と、

前記所定時間の経過に応じて、データリンクを解放するための処理を開始する制御工程と、

を有することを特徴とするプログラムを記憶した記憶媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明は、呼が解放された際に、データリンクを解放するか否かを判別する判別手段と、所定時間を設定するための操作手段と、前記判別手段の判別に応じて、前記操作手段により設定された所定時間を計時する計時手段と、前記所定時間の経過に応じて、データリンクを解放するための処理を開始する解放手段と、を有することを特徴とする通信装置を提供する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

呼が解放された際に、データリンクを解放するか否かを判別する判別工程と、前記判別工程における判別に応じて、操作部による操作により設定された所定時間を計時する計時工程と、前記所定時間の経過に応じて、データリンクを解放するための処理を開始する制御工程と、を有することを特徴とする通信装置の制御方法を提供する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

通信装置を制御するためのプログラムを記憶する記憶媒体であって、前記プログラムは、呼が解放された際に、データリンクを解放するか否かを判別する判別工程と、前記判別工程における判別に応じて、操作部による操作により設定された所定時間を計時する計時工程と、前記所定時間の経過に応じて、データリンクを解放するための処理を開始する制御工程と、を有することを特徴とするプログラムを記憶した記憶媒体を提供する。